

抗がん剤治療情報提供書利用事例

2010/10/16

事例 1 レジメ登録No 033 - 3 EC90療法

〇〇歳女性

現病歴:乳癌

服用歴:デパス錠0.5mg

アレルギー:なし

レジメ実施状況 術後化学療法:パージェタ+ハーセプチン
+DOC4コース終了

→EC療法 4 コース予定。

今回EC療法 1 コース目 ジーラスタ併用。

診療科
乳腺外科

疾患名
乳癌

レジメ名
EC

投与間隔
1コース 3 週間 計 コース

商品名(略名)	一般名	略号	投与量	投与方法	投与時間	投与日					
						day1					
エピルビン	エピルビン	EPI	90mg/m ² /day	div	5min	●					
エンドキサン	シクロフォスファミド	CPA	600mg/m ² /day	div	30min	●					

備 考
day1にアロキシ注0.75mg、イメンドカプセル125mg、デカドロン注9.9mg使用します。

前コース(パージェタ+ハーセプチン+DOC) 終了時有害事象について

- ・悪心:グレード2
明らかな体重減少や脱水はない。食事量は減少。
- ・味覚異常:グレード2
不快な味や味覚がなくなる等の食事量に影響する味覚変化。
- ・下痢:グレード2
普段と比べて排便回数が1日4-6回増える。日常生活に影響は
すくない。
- ・倦怠感:グレード1
軽いだるさがある。

その他該当なし

EC1コース目day1 処方内容

アプレピタント80mg
分1朝食後

1C
2日分

デカドロン錠0.5mg
分2朝夕食後

8錠
3日分

ドンペリドン錠10mg「EMEC」
分3毎食後

3錠
7日分

オランザピンOD錠5mg「明治」
屯用 嘔吐時

1錠
3回分

抗がん剤治療後の経過フォロー

服薬フォローするタイミングが問題!!

以下の事を踏まえ設定させて頂きました。

- ①服薬指導時の聞き取りで不安感が強い印象。
- ②薬剤部からの情報でday3にジーラスタ使用の為受診。
悪心嘔吐が強く出やすい患者。
→次回受診時の半分の設定では遅すぎると判断。
患者様と電話に出れるタイミングも相談し1週間後に設定。

EC1コース目day10

電話にて状態について確認

- ・点滴後 3～4日目から悪心が続き処方されたオランザピンをすでに飲み切ってしまった。
- ・味覚異常:グレード2から1に。
味覚異常はないが口の中に違和感(モアモアした感じと表現)
- ・下痢:グレード2から1に。
- ・他異常なし。

以上の事から、悪心が辛く不安感が強い方の為



屯用で使用していたオランザピンを次回2コース目の時に増やしてもらえるように薬剤部に提案。

EC2コース目day1 処方内容

前回処方からの変更点
オランザピンOD錠5mg
屯用 嘔吐時

1錠
3回分



オランザピンOD錠5mg
屯用 嘔吐時

1錠
10回分

事例2 レジメ登録No 033 - 3 EC療法

〇〇歳女性

現病歴:乳癌

服用歴:アズノール嗽液、半夏瀉心湯、デキサメタゾン口腔用

アレルギー:なし

レジメ実施状況 術後化学療法:EC療法1コース終了。

今回EC療法2コース目 ジーラスタ併用。

前コース(EC1コース)終了時有害事象について

- ・ 口腔粘膜炎:グレード3
痛みがあり食事が取れない。
⇒ 受診し半夏瀉心湯、デキサメタゾン口腔軟膏処方によりすぐ回復された
- ・ 味覚異常:グレード1
食事量の減少しない軽い味覚障害がある。
- ・ 便秘:グレード1
時々下剤等を使用する。
- ・ 下痢:グレード1
普段と比べて排便回数が1日3回の範囲内で増える。

その他該当なし

EC2コース目day1 処方内容

アプレピタント80mg
分1朝食後

1C
2日分

デカドロン錠0.5mg
分2朝夕食後

8錠
3日分

ドンペリドン錠10mg「EMEC」
分3毎食後

3錠
5日分

抗がん剤治療後の経過フォロー

以下の事を踏まえフォローの日程設定させて頂きました。

- ①薬剤部からの情報:G3の口腔粘膜が出現し急遽受診している事から1週間後が良い。その後1週間後に悪心についても知っておきたい事からもう一度電話にてフォローをしてもらいたい。
- ②服薬指導時にG3あった粘膜症状が受診時に処方されたデキサメタゾン口腔用軟膏により1-2日で完治。
→患者様の都合も考慮しday11に設定。

EC2コース目day11

電話にて状態について確認

【EC2コース目点滴後】

- ・ 口腔粘膜炎:グレード2から改善し現在症状なし。
- ・ 下痢・便秘・味覚異常:グレード1からいずれも改善。
現時点で症状なし。
- ・ 他異常なし。

EC3コース目day11

電話にて状態について確認

【EC3コース点滴後】

- ・有害事象については、特に異常なし。
- ・点滴後9-10日間つわりの時のようなむかむか感がる。食欲低下はない。
- ・右手肘下の痛みが日々増してくる。動かすと筋が痛み、押すと痛い。針で刺すような痛み。
→不安が募っている。できれば次回点滴があるが、Drと話す機会がない。できれば相談がしたいと要望あり。

以上の事から



次回受診時Drとの診察時間をとれないか薬剤部に提案

※薬剤部からDr と看護師に伝えて頂き、カルテにも記載して頂きました。

次回受診時に不安を取り除き治療を継続できると考えられます。

終わりに

【連携時のメリット】

- ・ 薬局薬剤師として関われる幅が広がる
- ・ 早期に副作用や患者様の不安な点を解消することができる



質の良い医療の提供

【今後の課題】

- ・ 化学療法に対する知識不足